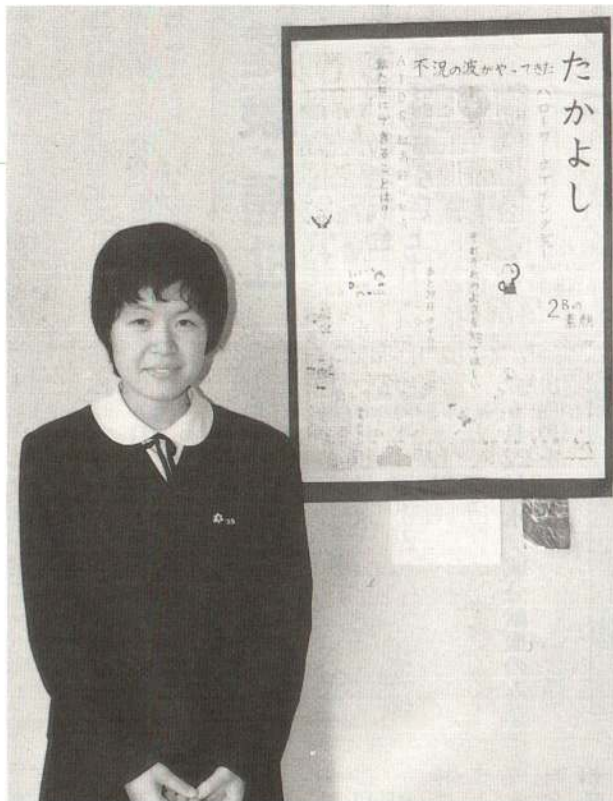




キラットさん

BE AMBITIOUS

『めざせジャーナリスト』

大館桂高校 3年

長崎 亜希子さん

今回は大館桂高校におじゃましました。放課後の校内は女子生徒たちがはしゃぐ声であふれ、思わず仕事を忘れてしまいました。

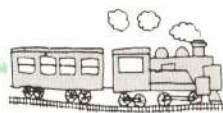
長崎さんは毎朝立花から自転車です通学する桂乙女。新聞委員長を務めるとあって、さすがにシンのしっか

りした知性的な表情を見せてくれますが、やはり女の子、はにかみを含んだ笑顔がかわいい十七歳です。前回のキラットさんのコーナーを見ていたらしい彼女、「花輪線のタロット師のようにユニークではないんですが」と遠慮がち。一緒に取材に応じてくれた友だちも含めて、終始照れくさそうな表情が印象的な女の子たちでした。

「自分たちの就職情報をつくるためにハローワーク大館に取材に行ってきました」クラスのメンバーでつくりあげたそのカベ新聞は、ハローワークからお褒めを頂いた力作。先生の助けも借りずにつくったのだそうですが、記事、構成など、素人離れた立派な仕上がりを見せます。「休日は街でショッピングを楽し

むんですが、あまり欲しいと思うものが残念です。若者向きのお店が増えるといいな、と思います」と若者らしい提案もしてくれました。

卒業後は就職を希望しているそうで、「できれば報道関係の仕事がしたいんです」とのこと。広報おのだでの編集にぜひ欲しい人材です。



川崎発 → 大館着

前略

大館市民になりました

(38)

☆今回は金坂の星和一さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻のるみ子と長女の彩華の三人です。

Q・どちらからおいでになりましたか？

去年の十月に川崎市から来ました。妻は大館の生まれです。

Q・大館の印象はいかがですか？

川崎にいたころは意識していなかったんですが、こちらの空気は断然おいしいですね。それから、通りすがりの人が気軽に声を掛けてくれるのはちょっと驚きました。都会では、他人に気安く話しかけるのは、たいてい怪しい人間でしたから。大館の人は温かいんですね。

Q・食べ物や言葉はどうですか？

水がおいしいです。ごはんがおいしく炊けるんです。都会でも、良い米はあるのですが、水で炊き上がりの味が左右されますから。魚を丸ごと売っているのも印象的です。都会の子供は、切り身の魚が海を泳いでいるものと思ってるんですよ。言葉は、お年寄りの気取らないしやべり言葉が、温かいのですが、外国語を聞くようで苦労します。Q・大館にどんなことを望みますか？

商店街の活性化ですね。特に、小さな商店には、小さいなりに大規模店より身近な地域に根差した、住民と「顔なじみ」的なおつきあいができるお店になって欲しいです。それに、街の活気が、夜、急に無くなるのが残念です。夜になっても活気が持続する街になって欲しいですね。

